

第1学年 道徳科学習指導案

1年1組 20名

指導者 小坂 ひふみ

1 主題名 わがままをしないで

A-(3) 節度、節制	健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の周りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。
----------------	--

2 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容

わがままをしないとは、自分勝手な行動をしないで周囲の人のことを考えて行動することである。集団生活においては、わがままな行動をせず、周囲の人のことを考えて生活することが大切である。低学年の段階では、自分の思うままに行動したことが、周囲の人を困らせる場合もあることに気付かないことが多い。そこで、児童の日常生活における行動を通して、周囲に対する気配りをしたり思いやりをもったりして、安全のきまりを守ってそれを実践させることや、身の周りを整えて気持ちのよい生活ができるようにすることなどの具体的な指導を進める必要がある。本教材で、わがままをしない規則正しい生活が自分にとって大切であることに気付く、そのような生活を通して快適で安全な毎日を送ろうとする実践意欲を育てていきたいと思い、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、小学校での生活にも慣れてきており、落ち着いた生活を送ることができている。生活のきまりを理解し、守ってこうとする姿も見られる。休み時間には、友達としたい遊びが違っていれば相談するなど、友達の気持ちを考えて生活しようとする場面が増えてきている。また、1学期に学習した「きもちがよいのは？」の学習では、わがままや自分勝手な行動によって、最終的には自分自身が困ること、そして、規則正しい生活が、自分自身の快適な生活につながることにについて考えた。今後は2年生に向けて、よりよい行動を自ら考え実践していくことが求められる。本時では、わがままをしない生活をする事のよさを考え、さらに実践意欲を高めたい。

(3) 教材について

(教材名「かぼちゃのつる」)
出典：新編 あたらしいどうとく1
東京書籍)

かぼちゃがみつばちやちょうの助言や注意を聞き入れずにぐんぐんとつるを伸ばし、すいかや犬にも迷惑をかけ、最後には走ってきたトラックに自分自身のつるを切られてしまう、という内容である。

わがままをしないこと、自己中心的な振る舞いを控えることは、自分自身のよりよい生活を築くことである。また、周囲の人々のよりよい生活にもつながる。かぼちゃの思いとその変化に共感し、自分勝手な行動は、自分も周囲の人も嫌な思いをすることについて考える。わがままをしないで生活することのよさについて考えを深めることができる教材である。

(4) 主体的に考え、伝え合い、共に伸びる授業の工夫

学年花壇で育てたかぼちゃの写真を電子黒板で提示し、かぼちゃはつるを伸ばして成長する植物であることを確認することで、教材への興味をもつことができるようにする。そして、他の生き物に注意されながらも自由につるを伸ばしていく様子を、板書で視覚的に整理しながら確認する。また、児童がかぼちゃ役、教師が注意をする犬役で役割演技を行い、見ていた児童にも意見を聞くことで、周囲に注意をされながらも自分勝手につるを伸ばすかぼちゃのわがままな行動について考えさせたい。トラックにつるを切られたときのかぼちゃの気持ちを考える際には、ワークシートの吹き出しに書き込ませることで、わがままな自分勝手な行動をしていたことを後悔するかぼちゃの気持ちにも共感できるようにする。振り返り際には、わがままをせずにつるを伸ばすとどうなるかを問うことで、切られることなく伸ばせたりのびのびと伸ばせたりすることに気付かせる。そして、わがままや自分勝手をせずに生活することのよさについて考えることができるようにしたい。

3 本時の学習

(1) ねらい

周囲の人と自分のことを考え、わがままをしないで生活しようとする心情を育てる。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問と予想される反応 ◎主発問	指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 本時の教材について知る。	○かぼちゃはどのように大きくなりますか。 ・つるを伸ばして大きくなる。 ・二つのつるが絡まっていたよ。 ・あさがおと似ている。	○学年花壇のかぼちゃの写真から、のびのびと自由につるを伸ばして成長している様子を捉える。
展開	2 教材「かぼちゃのつる」の話を聞き、わがままな心について考える。		○黒板に貼ったかぼちゃからつるを伸ばすことで、かぼちゃの様子をよく捉えることができるようにする。
	かぼちゃさんが えがおになるためには どんなことに きをつけたら いいのかな		
	(1) つるを伸ばしているかぼちゃの気持ちを考える。	○つるをぐんぐんと伸ばしている時、かぼちゃはどんな気持ちでしょう。 ・楽しいな。 ・もっと伸ばしたい。	○かぼちゃはつるを伸ばして大きくなることを踏まえ、かぼちゃがのびのびとつるを伸ばしてきたことを押さえる。
	(2) 周りの生き物に注意をされた時のかぼちゃの気持ちを考える。	○みつばち、ちょう、すいか、犬に注意されたかぼちゃはどんな気持ちでしょう。 ・うるさいな。 ・べつにいいだろう。 ・楽しいからやめられないよ。 ・僕は伸ばしたいんだ。	○役割演技（再現劇）を通して、自分のしたいことを優先するかぼちゃの気持ちに共感したり、批判したりすることができるようにする。
	(3) つるが切れたかぼちゃの気持ちを考える。	◎つるが切れたかぼちゃは、どんな気持ちでしょう。 ・痛いよ。 ・みんなの言うことを聞いておけばよかった。 ・注意してくれていたのにな。 ・つるを伸ばす場所をもっと考えたらよかった。	○ワークシートを準備することで、かぼちゃの気持ちを深く考えることができるようにする。 ○かぼちゃがこれからどのようにつるを伸ばしていけばよいかも考えることができるようにする。
	3 本時の学習を振り返り、自分の生活を振り返る。	○自分も周りの人も気持ちよく生活するためにはどんなことに気をつけたらいいでしょう。 ・わがままをしない。 ・注意されたら素直に聞く。 ・自分勝手なことをしない。	○ネームカードを貼るホワイトボードを3種用意することで、児童が主体的にこれからの自分について考えることができるようにする。 ☆わがままをしないことのよさを自分のこととして考えている。（発言）
終末	4 本時のまとめをする。	○わがままや自分勝手にしないように生活していきましょう。	○児童が自分の未来に意欲をもてるような言葉がけをする。